

ガーナからの手紙

2019年10月9日

青年海外協力隊 2018年度2次隊
市川 将志 (いちかわ まさし)

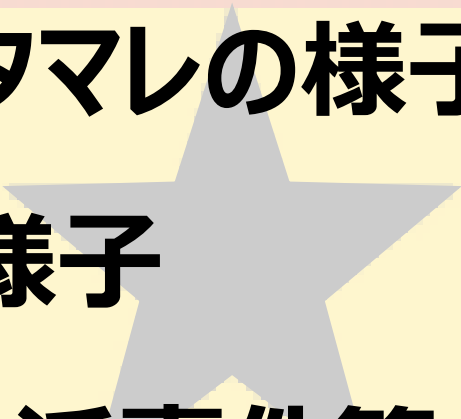
あいさつ

佐久市のみなさん、こんにちは。
現在青年海外協力隊として、西アフリカのガーナにある教員養成校でPCインストラクターとして活動している市川将志です。

ガーナに来てからあっという間に1年が経ちました。
この半年は活動に息詰まったり、体調を崩したり、悩むことがあり異国の地で不安を感じることもありましたが、一つひとつ乗り越えています。ガーナでの活動も折り返し地点、残り1年は後悔しないように活動します。

今回のガーナからの手紙では、最近のガーナや活動の様子、2019年4月以降の出来事、感じたことを紹介します。

目次

1. 最近のタマレの様子
 2. 活動の様子
 3. ガーナ生活事件簿
- 

最近のタマレの様子

ガーナでは5月から9月まで**雨季**です。ガーナからの手紙20190409号に書いた乾季から大きく気候が変わっています。

■ 気温の変化

雨季と乾季で気温が大きく変わって来ました。雨季は涼しくて過ごしやすいです。

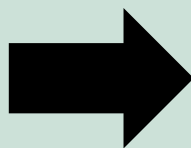
	乾季	→	雨季
最高気温	41℃		30℃
最低気温	28℃		22℃

■ 雨量の変化

乾季はほとんど雨が降りませんが、雨季は毎日のように**スコール**と呼ばれる1,2時間に大量の雨が降っています。道には川のように水が流れています。乾季は植物が全く生えませんが、雨季の雨で緑が増えています。



乾季は乾燥して植物が無い赤土の大地



雨季は雨が多いため緑が豊かで別世界

活動の様子(1)



「ガーナからの手紙20190409号」で書いた通り、前期はマイクロソフトのWordの使い方を教えていましたが、後期は別の内容を教えています。

自分が担当しているパソコンの授業の様子です。後期は**タイピングの仕方、マイクロソフトのExcelとPowerPointの使い方を学ぶ授業**を行いました。

タイピングが苦手な生徒が多い中、授業後はタイピングスピードが上がっていました。Excelでは関数を中心に表計算を学びましたが、初めて使う生徒が多く最後まで苦戦していました。PowerPointでは自己紹介のプレゼン資料を作って実際に一人ひとり自己紹介しました。授業で何かを作ると生徒のやる気が上がり、学ぶ効率が上がるようです。



活動の様子(2)

配属先の教員養成校でのワークショップの様子。多くのJICAボランティアが私の配属先に来て、将来教員になる学生に向けて算数、理科、図工、ICTの効果的な教え方や教材を紹介しました。アンケート結果を見ると学生からの満足度は高かったです。



活動の様子(3)

自分の配属先以外の学校でも活動しています。

タマレに住む同僚の隊員が開催した**中学校、高校でのICT(Information Communication Technology)ワークショップ**の様子。ワークショップの目的は、最新ICTを紹介して学生にICTに興味を持ってもらい、ICTを学ぶ意欲を向上させることです。今回は**プログラミング、デザイン、キャリアビルディング、CG(Computer Graphic)、VR(Virtual Reality)**を題材として、自分はVR担当として授業を行いました。



学生にVRとは何かを理解してもらい、VRのヘッドセットを使ってVRを体験してもらいました。

結果は大成功で、多くの学生にVRを通してICTに興味を持ってもらいワークショップの目的を達成できました。また、動画を使った教材が効果的であることも理解できました。

ガーナ生活事件簿①

ファイアフェスティバルに参加する

年1回ノーザン州で開催されるダゴンバ族伝統の祭りであるファイアフェスティバル（ダバニ語ではBugum Chugu）に参加しました。起源はダゴンバ族とイスラム教の2つの説があり、一般的にはダゴンバ族の太陰暦の最初に月を祝うために開かれると言われています。



開始前は爆竹、ロケット花火、打上花火が乱れ飛んで危険…。



馬に乗ったチーフが登場してよいよ開始。チーフが持った松明から他の松明に火が点けられて、大騒ぎの中でその火が広がって行く。



松明を持ったまま行進が始まり、歌い踊りながら皆で一般道を練り歩く。

ガーナ生活事件簿②

ラマダン期間中に断食に挑戦する

ラマダンとはイスラム暦における月の名で、2019年は5月6日～6月4日です。この間**イスラム教徒は断食を行います**。断食の目的は預言者ムハンマドの苦難を体験し、貧しい人の気持ちを理解して慈善活動に励むことと言われています。断食のやり方は日の出から日没までの間は水も含めて摂取できませんが、それ以外の時間は食事を摂れます。任地のタマレではイスラム教徒が多く、配属先でうっかり断食に挑戦する事を宣言してしまったため断食に挑戦しました、、、が1週間でギブアップしました。理由は最高気温40℃（体感温度45℃）で水分を取れないのがあまりに過酷だったためです。ただ、この1週間の断食は貴重な体験となり、日没後に飲んだ冷えた水の美味しさは今でも忘れられません。

因みに、ラマダン期間中はガーナ人は省エネ運転になって仕事をしなくなります。

ラマダン明けは祝日となり、**Eid-ul-Fitr（イード・アル＝フィトル）**と呼ばれる**祭り**があります。大人も子供も着飾り、女の子は化粧をして祭りに参加します。



ガーナ生活事件簿③

配属先の卒業式に参加する

日本の学校は新年度が4月に始まり3月に終わりますが、ガーナでは9月に始まり8月に終わります。配属先の最高学年3年生の卒業式があって参加して来ました。



卒業生はスクールカラーの緑色のローブ、教師は黒色のローブを着ます。来賓の方のあいさつ、現地のダンス、在校生の合唱など催し物があって盛り上がります。

ガーナ生活事件簿④

チョコレート作りを体験する

チョコレートの原料である**カカオ豆はガーナの名産品**です。同僚の隊員がカカオ豆を手に入れてチョコレートを作りました。手間は掛かりますがとても美味しいチョコレートが出来上がりました。

シアバター生成工程

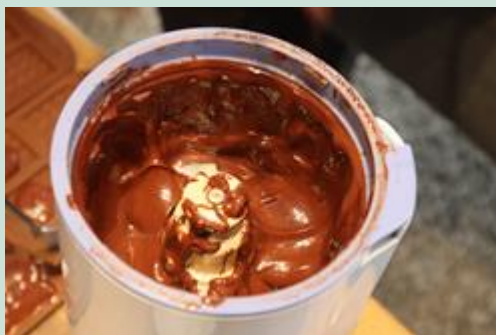
- ①カカオ豆を発酵させる
 - ②カカオ豆を乾燥させる
 - ③カカオ豆を焙煎する
 - ④カカオ豆の殻を剥く
 - ⑤-1 カカオ豆を擦り潰す
 - ⑤-2 砂糖と混ぜる
 - ⑤-3 細かくする
 - ⑤-4 練り上げる
 - ⑥チョコレートの温度を調整する
 - ⑦チョコレートを型に流し込む
 - ⑧チョコレートを冷やす
- ※青字は今回体験した工程



④カカオ豆の殻を剥く



⑤-2 砂糖と混ぜる



⑤-4 練り上げる



⑧冷やして出来上がり

ガーナ生活事件簿⑤

国内旅行に行く

ガーナ国内は自然を活かした観光地があり、配属先の休暇を利用してガーナ最高峰**アフジャト山**、有名な観光地**ウリの滝**に行ってきました。

アフジャト山



山頂から周囲を一望する。



目の前に隣国トーゴの山があり、向こうの方が高くて達成感が半減…。



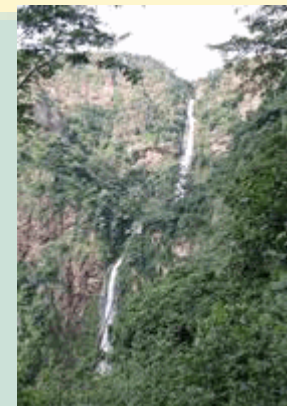
ウリの滝



雨季のため水量が多い。



激しい水しぶきの中で遊ぶ人達。



滝は2段あって巨大。¹²

ガーナ生活事件簿⑥

任国外旅行に行く

協力隊には**任国外旅行**という制度があり、年間20日を上限に派遣国以外の国に自費で渡航できます。配属先の休暇を利用して**ルワンダ**と**南アフリカ**に行ってきた。同じアフリカでもガーナと異なり、ルワンダは街中にゴミが落ちていなく綺麗、南アフリカは先進国並みの発展ぶりで驚くことばかりでした。

ルワンダ



同期隊員のコーヒー農園を見学。虐殺記念館で過去の悲劇を学ぶ。サファリで色んな動物と出会う。

南アフリカ



ケープタウンは綺麗な街並み。



絶景の喜望峰。



日本の大都市にも劣らない大都会。